

平成21年度 事業実施計画

本協会は、昭和34年11月に創設され平成21年で50周年を迎える。この間の日本の競走馬育成技術の向上は目覚ましいものがあり、本協会会員の果たしてきた役割は極めて大きいものがあると自負するところである。

現在、世界各国の競馬先進国において日本の競走馬の活躍には目覚ましいものがある。この要因として、血統の充実はもちろんであるが、それを開花させる育成技術の向上に負うところも大きく、競走馬育成業界、本協会会員の役割の重要性は一層広く認識されてきている。

平成21年度は、引き続き会員の育成技術の一層の向上に資する事業に重点を置きつつ、関係機関のご協力とご支援を得ながら、以下の事業を計画的、効率的に実施して健全なる競馬の発展に寄与するものとする。

また、育成者が担っている重要な役割や、当協会の業務運営、会員の活動内容等について、積極的にPR活動に取り組むとともに、本協会の目的に適う事業・制度の改善については、積極的検討を行い、経営環境に注視しつつ経営リスク軽減に向け努めるものとし、また今後の競走馬育成業界の発展を祈念した50周年記念事業に向けての準備を行う。

1. 育成技術表彰事業の実施

- (1) 会員の育成技術の向上を図り、丈夫で強い馬づくりを目指した競走馬育成の健全な発展に資するため、育成技術表彰事業を実施する。
- (2) 表彰対象競走は昨年同様、全446競走程度とする。
新馬競走（250程度）、2歳重賞競走（15）、障害重賞競走（10）、
3歳以上重賞競走（111）、3歳以上平地オープン競走（除く3歳限定）（60程度）
- (3) 一部表彰対象競走にあつては、施行場における表彰式への参加機会の拡大について、関係機関との調整を図る。

2. 育成技術講習会の開催

- (1) 競走馬の育成・調教に関する経営・飼養・衛生・環境管理及び馴致・トレーニング法等の知識や手法について、普及啓蒙を図り、丈夫で強い馬づくりに資するため、育成技術講習会を実施する。
- (2) その実施にあたっては、日本中央競馬会、(財)軽種馬育成調教センターと連携、共催することにより、なお一層の運営効率化を図ることとする。

3. 軽種馬経営高度化指導研修事業の実施（生産育成技術者海外派遣研修事業）

- (1) 会員の軽種馬育成に関する高度な知識・技術の習得を目的として、生産育成技術者

海外派遣事業を実施する。

- (2) 制度がより有効に活用されるよう、運営について、関係機関と調整を図るとともに、会員への情報提供等を積極的に行う。

4. 2歳育成馬トレーニングセールスの推進

- (1) 会員の育成成果を公開する場でもあるトレーニングセールにおいて、その開催後援等により市場取引の活性化を図る。

5. 育成経営の実態及び改善に関する基礎調査事業の実施

- (1) 競走馬の育成を行う者の、育成環境の改善及び育成技術の向上に資するため、育成経営の基礎調査を実施する。
- (2) 会員の経営基盤強化に資する調査・研究のため、従来の概況調査等に加えて、人材養成・確保に関する調査を実施する。

6. 軽種馬生産育成強化資金利子補給事業の実施（軽種馬生産育成強化対策事業）

- (1) 育成施設等の整備のため、(財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受け、軽種馬生産育成強化資金利子補給事業を実施する。
- (2) 制度がより有効に活用されるよう、関係機関との情報交換、諸調整を図る。

7. 育成情報誌発行事業の実施

- (1) 当協会の主要行事、関連する業界の動向等、会員が必要とする情報を提供するため、機関誌「いくせい」を発行する。

8. 付随的な事業への取組み

- (1) 会員の経営改善に資するため、畜産環境整備リース事業及び競馬関連機材等有効活用事業に積極的に取組む。

9. 協会組織の拡充強化

- (1) 競走馬の育成者の新規加入を促進し、育成者の連携と連帯を深めることを目指し、組織の整備拡充を図る。
- (2) 公益法人制度改革における、公益社団法人の認定を受けるべく、必要な諸手続きを進める。
- (3) 新規会員の招致活動及び協会活動、会員牧場のPR（上記機関誌の活用、マスコミ等への情報提供等）を積極的に行う。

10. 会議等の開催

- (1) 上記の事業運営について、審議・協議するため、総会、理事会等を開催する。
- (2) 創立50周年記念事業の準備を行う。

収支予算書総括表

平成21年1月1日 ～ 平成21年12月31日

(単位:千円)

科 目	一般会計	育成経営の実態 及び改善に関する 基礎事業会計	軽種馬生産育成 強化資金利子 補給事業会計	軽種馬経営 高度化指導 研修事業会計	合 計
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
入会金収入	150	0	0	0	150
会費収入	5,940	0	0	0	5,940
補助金等収入	71,656	0	591	0	72,247
委託事業費収入	0	1,720	0	0	1,720
補助事業費収入	0			10,000	10,000
雑収入	545	2	0	0	547
事業活動収入計	78,291	1,722	591	10,000	90,604
2. 事業活動支出					
事業費支出	51,874	1,722	328	9,973	63,897
業務管理費支出	27,966	0	0	0	27,966
業務委託費支出	1,198	0	0	0	1,198
育成技術向上推進事業費支出	322	0	0	0	322
2歳育成馬トレーニングセール事業費支出	0	0	0	0	0
育成情報誌発行事業費支出	430	0	0	0	430
育成技術表彰事業費支出	21,958	0	0	0	21,958
育成経営の基礎調査事業費支出	0	1,169	0	0	1,169
競走馬資源有効調査事業費支出	0	553	0	0	553
利子補給事業費支出	0	0	328	0	328
育成技術者海外派遣費支出	0	0	0	9,447	9,447
派遣者選考経費支出	0	0	0	526	526
推進事務費支出	0	0	263	1,243	1,506
現地指導旅費支出	0	0	163	0	163
通信運搬費支出	0	0	100	132	232
会議費支出	0	0	0	119	119
印刷費支出	0	0	0	300	300
旅費支出	0	0	0	615	615
消耗品費支出	0	0	0	77	77
補助金等返還金支出	0	0	0	4,402	4,402
管理費支出	27,951	0	0	0	27,951
役職員給与支出	16,988	0	0	0	16,988
事務費支出	6,757	0	0	0	6,757
会議費支出	1,206	0	0	0	1,206
創立50周年記念費	3,000	0	0	0	3,000
事業活動支出計	79,825	1,722	591	15,618	97,756
事業活動収支差額	△ 1,534	0	0	△ 5,618	△ 7,152
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定預金取崩収入	0	0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出					
特定預金取得支出	2,660	0	0	0	2,660
投資活動支出計	2,660	0	0	0	2,660
投資活動収支差額	△ 2,660	0	0	0	△ 2,660

科 目	一般会計	育成経営の実態 及び改善に関する 基礎事業会計	軽種馬生産育成 強化資金利子 補給事業会計	軽種馬経営 高度化指導 研修事業会計	合 計
Ⅲ財務活動収支の部					
1.財務活動収入	0	0	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2.財務活動支出	0	0	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
Ⅳ予備費支出					
当期収支差額	△ 4,194	0	0	△ 5,618	△ 9,812
前期繰越収支差額	6,125	0	0	4,402	10,527
次期繰越収支差額	1,931	0	0	△ 1,216	715

(注) 1.借入金限度額 0円
2.債務負担額 0円